

YCAM 5周年記念事業

「大友良英 / ENSEMBLES」(おおともよしひで / アンサンブルズ)

山口情報芸術センター (YCAM) では、開館 5 周年事業のオープニング企画として、「大友良英 / ENSEMBLES」展を、7 月より全館をつかって開催いたします。

常に実験的に音を追求し続けるアーティスト、大友良英氏。フリージャズ、即興演奏、ノイズミュージック、現代音楽、電子音響、映画音楽など、多彩な分野で活動を行う大友氏の包括的な音の世界を、空間と映像を多面的にメディアミックスしながら、新作インスタレーション 4 作品 (YCAM 委嘱作品) として発表します。またそれにとまなう数々のイベントも同時に開催します。

本展では、多数の人によって成り立つ“アンサンブル”が、さらに複数形となって集合することが、コンセプトとなっています。様々なジャンルの国内外のミュージシャンやサウンドクリエイター、ビジュアルアーティスト、さらに一般市民が広くコラボレーションを行い、観客を巻き込みながら共鳴していきます。人々が集い、交流することで見えてくる新たな風景をご期待ください。

展覧会オフィシャルサイト

<http://otomo.ycam.jp/> ※ 5 月 25 日 (日) 公開予定

[主催] 財団法人山口市文化振興財団 [後援] 山口市、山口市教育委員会 [助成] 財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人花王芸術・科学財団 [協力] せんだいメディアテーク、キャロサンズ、株式会社NHK エンタープライズ、株式会社オフィス・シロウズ [協賛] 株式会社音響総合研究所 [企画制作] 山口情報芸術センター (YCAM) [共同開発] YCAM InterLab [プロジェクトキュレーター] 阿部一直 (YCAM)

報道関係者向け内覧会のお知らせ

「大友良英 / ENSEMBLES」展の内覧会を下記日程にて開催いたしますので、取材をご希望される際はご連絡をお願いします。

A 期 7 月 4 日 (金) 13:00- B 期 8 月 22 日 (金) 13:00-
会場：山口情報芸術センター

展覧会期 2008 年 7 月 5 日 (土) — 10 月 13 日 (月・祝)

■ A 期 7 月 5 日 (土) — 9 月 15 日 (月・祝)

■ B 期 8 月 23 日 (土) — 10 月 13 日 (月・祝)

* 作品の構成別に 2 会期制をとります。*8 月 23 日 (土) ~ 9 月 15 日 (月・祝) の間は、全作品がご鑑賞いただけます。

開場時間：10:00-20:00

スタジオ A・スタジオ B：12:00-19:00

図書館展示作品：19:00-20:00

会場：山口情報芸術センター 各所 入場無料

展示作品

作品 1 「quartets」(カルテッツ) A 期

スタジオ B

作品 2 「orchestras」(オーケストラズ) B 期

スタジオ A

作品 3 「without records」(ウィズアウトレコーズ) A・B 期

ホワイエ ~ 2F ギャラリー ~ 中庭

作品 4 「filaments」(フィラメンツ) A・B 期

山口情報芸術センター内 山口市立中央図書館

ライブシリーズ

LIVE-1 7 月 5 日 (土) 19:30- オープニングライブ

会場：スタジオ A

LIVE-2 8 月 23 日 (土) 開演時間未定 オーケストラズ

会場：館内各所 / スタジオ A

LIVE-3 10 月 11 日 (土) 19:30- クロージングライブ

会場：スタジオ A

関連企画

大友良英 × 高嶺格 トーキング・セッション

6 月 1 日 (日) 14:00-15:30 会場：ホワイエ

ボランティア・機材募集説明会

6 月 1 日 (日) 15:30-17:00 会場：ホワイエ

「without records」制作ワークショップ

6 月 20 日 (金) — 29 日 (日) 会場：ホワイエ、創作・学習室

「こどものための即興オーケストラワークショップ」

8 月 17 日 (日) 14:00- 会場：創作・学習室

大友良英の音楽参加の映画作品特集上映

7 月 11 日 (金) — 13 日 (日) / 8 月 1 日 (金) — 3 日 (日)

9 月 12 日 (金) — 14 日 (日) 会場：スタジオ C

お問い合わせ



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

広報担当：浅原・廣田

〒753-0075 山口市中園町 7-7 TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

e-mail: information@ycam.jp URL: <http://www.ycam.jp/>

大友良英氏からのメッセージ

テーマは「アンサンブル」。様々なコンテクストの中で生まれるインタラクティブなアンサンブルは、現代の社会情勢を映し出す鏡のように、人と人との関係、人とオブジェ、人と機械との関係の可能性、不可能性を見据え、より開かれた未来に向けてポジティブな展示になるでしょう。また単に一方通行の展示ではなく、これらの素材を生きたものにするのは、会場にこられた一般の人たちです。作品の多くは観客との相互作用の中ではじめて、アンサンブルとして成り立ちます。



大友良英(おおとも よしひで)

1959年生まれ。ギタリスト/ターンテーブル奏者/作曲家/プロデューサー。ONJO、Anode等、常に複数のバンドを率い、またFilament、Joy Heights等、数多くのバンドに参加。日本はもとより世界各地でのコンサートやレコーディング等、常にインディペンデントなスタンスで活動する。特に実験音楽や即興、ノイズの分野における欧米での評価は高い。ノイズやフィードバックを多用した大音量の作品から、音響の発生そのものに焦点をあてたスポンテニアスな作品、また近年はジャズや歌の作品も多く、映画音楽も数多く手がけ、その作風は多種多様である。

参加アーティスト プロフィール

作品1「quartets」

カヒミ・カリィ/Kahimi Karie

1968年生まれ。91年デビュー以降、国内外問わず数々の作品を発表。98年、99年、全米でベストアルバムを発売。03年より大友氏のソロアルバム、ONJOのメンバーとして欧州ツアーにも参加。06年DVD「kochab」、大友良英氏、ジム・オルーク、ヤン富田氏との共同プロデュースによるアルバム「NUNKI」をリリース。他、FMのパーソナリティーや連載コラム、映画コメント執筆など。

木村友紀(きむら ゆき)

1971年京都生まれ。美術作家。[主な個展] 03年「new garden」タカシイギャラリー、05年「untitled puzzle」児玉画廊、07年「pictures of a man」タカシイギャラリー/Art Basel Miami、[主なグループ展] 99年「第6回イスタンブール・ピエンナーレ」、04年「Roppongi Crossing」森美術館、06年「Slow Tech」Taipei MOCA、08年「mellowfever」Galerie des Galeries

平川紀道(ひらかわ のりみち)

1982年島根県生まれ。07年多摩美術大学美術研究科修了。GLOBAL BEARINGにて第8回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。グループ展として、06年「Re: search」(せんだいメディアテーク)、07年「OPEN SPACE 2007」(NTTインターコミュニケーション・センター)、08年「transmediale.08」(ドイツ)等に参加。他、企業からの委嘱作品も発表。

ベネディクト・ドリュエ

サウンド/映像アーティスト。ロンドンを拠点に活動を展開。現在、ロンドン・ミュージシャンズ・コレクティブ(LMC)のメンバーとして「Audit」等のコンサートの運営にも携わる。99年にラップトップ・デュオ「ニッシュ」でイヴァン・シールと共同制作を開始。数多くの作品をリリースし精力的な活動を展開している。

作品2「orchestras」

高嶺 格(たかみね ただす)

1968年生まれ。美術作家。90年代初頭よりパフォーマンスやインスタレーション、ビデオから工芸的手法まで多彩な作品を発表する。「ヴェネツィア・ピエンナーレ2003」、「釜山ピエンナーレ2004」、「横浜トリエンナーレ2005」等の国際展でも活躍。舞台作品のコラボレーションも数多く手掛け、自身の演出による作品も発表。京都造形芸術大学客員教授。

作品3「without records」

青山泰知(あおやま やすとも)

北海道旭川市生まれ。仙台在住。美術活動を続ける傍らライブ企画やDJ等も行なう。95年、大友氏とのコラボレート企画「we insist?」ではインスタレーションを担当。また「MUSIC MERGE FESTIVAL '97」に大友氏とのユニット「DJ TRANQUILIZER」で参加。07年には「せんだいメディアテーク」の「without records展」にて視覚構成を担当する。

作品4「filaments」

Filament [大友良英 + Sachiko M]

1997年に結成。ポスト・エレクトロニクス・ミュージックのあくなき実験場として、聴取と発音行為の徹底的な分析と解体の末に生まれたユニット。Sachiko Mによる独特な作曲方法を軸に、微弱音から轟音に至るまで、また可聴範囲の限界を超えつつ、従来の「作曲」や「即興」によって作られた音楽とは根本的に異なる音響体験をもたらす。これまでに世界十数カ国で演奏、多くの物議をかもしている。

作品1

「quartets」(カルテツ) [新作]

大友良英+木村友紀+ベネディクト・ドリユー+平川紀道+ 7人のミュージシャン

会場：スタジオB

A期

会場中央に設置された3.3m四方2.5m高の白いキューブの各側面に、ミュージシャンのほぼ等身大のシルエットが投影されます。さらにキューブに対面する壁の各スクリーンには、木・鉄・液体などで作られたオブジェのディテールが映し出され、これら物質の映像は、投影されるミュージシャンが演奏する音に合わせて振動しています。キューブ各1面にひとりずつ、4人のミュージシャンが映し出されます。カルテットAまたはカルテットBの2組の演奏のどちらかを基本にはじまりますが、時間の進行とともにA、Bのカルテット演奏者が互いに入れ替わったり、干渉し合いながら時にA、B、互いの演奏がランダムににじみ合うように挿入され、まったくあらたなカルテットが毎回生れます。観客は、キューブの4面を同時に見ることはできないため、すべての演奏者の音を同時に聴くことはできても、その姿を一度に見わたせることはできない仕組みとなっています。

〈参加アーティスト〉

quartet A：大友良英[日本]+アクセル・ドゥナー [ドイツ]+マーティン・ブランドルマイヤー [オーストリア]+Sachiko M [日本]

quartet B：カヒミ・カリィ [日本]+石川 高[日本]+一楽儀光[日本]+ジム・オルーク[アメリカ]
木村友紀(映像撮影・ディレクション) [日本]、ベネディクト・ドリユー (オブジェ・映像) [イギリス]、平川紀道(プログラミング、システム) [日本]

作品2

「orchestras」(オーケストラズ) [新作]

大友良英+高嶺格+多数のミュージシャン

会場：スタジオA

B期

現代美術家、高嶺格とのコラボレーションによる廃材と光線を使ったサウンドインスタレーション。会場スタジオAの空中には、さまざまな廃材やオブジェ、多種多様のスピーカーを複数設置。中央には、それらを鏡で光線を反射させる装置が置かれ、複数の光線が空間を飛び交います。それらの光線がサーチしたオブジェから音が発せられ、それぞれのパーツが多数に共鳴し合っ、観客は複合的なオーケストラを体験することができます。中地下にある奈落には、エレクトリックギターが多数設置されたインスタレーションがあり、地下から時おりギター同士によるフィードバック音を発します。観客はそのスペースにも降りて回遊することができます。

音源には、さまざまなジャンルのプロのミュージシャンから、地元のアマチュア演奏家までの総計100名程度のソロを収録、空中に設置された様々なスピーカーを通してランダムにからみあうオーケストラを聴くことができます。

作品3

「without records」(ウィズアウトレコーズ) [改訂新作]

大友良英+青山泰知

会場：ホワイエ～2Fギャラリー～中庭

A期 B期

レコードをセットせず、段ボールや鉄など異素材がとりつけられたポータブルレコードプレイヤーを100台あまり設置するインスタレーション。ホワイエの会場空間内には、上下左右至る所に散在させたターンテーブルが、回転による摩擦によってノイズをおこし、多層的に共鳴。静かなローファイサウンドが群となって、全体の音の像を変化させていきます。そして観客がプレイヤーの位置を移動したり、針を置き換えたりすることで、さらに新しい音の世界が加わっていきます。また2Fギャラリーではターンテーブルの機能を分解し、ハイファイサウンドでアウトプットさせる新作インスタレーションを設置します。

これらは、デジタル時代に忘却されつつあるレコードとターンテーブルの意味や可能性、音響芸術上の歴史的な意義を、見つめ直すきっかけとなる作品でもあります。

(2007年にせんだいメディアテークで展示された作品を大幅リニューアルした改訂新作)

*システム：YCAM InterLabとの共同開発

作品4

「filaments」(フィラメンツ) [新作]

Filament (フィラメント) [大友良英+ Sachiko M]

会場：山口情報芸術センター内 山口市立中央図書館

A期 B期

図書館内に小さなスピーカーを設置。閉館後の一時間、Filamentによる静かな音源が流れます。小さなLED照明が図書館の本棚に仕掛けられ点滅を繰り返すなかで、時にほとんど気づかない程度の音量で、時には可聴域ぎりぎりの周波数の音の断片たちがランダムに絡み合います。よく耳をすませば、環境音の中からFilamentのアンサンブルが現れてきます。

ライブシリーズ

オーケストラからソロに至るまでの、大友良英が関連する様々なプロジェクトのコンサートを、会期中3回にわたり開催いたします。

LIVE-1：オープニングライブ

1st setは、カヒミ・カリィ初のフォトインスタレーションコンサートで、彼女の撮影した写真を大スクリーンで映像プロジェクションしながらのセッション。2nd setはニンジャチューンの映像でも知られるベネディクト・ドリュエとDJトランキライザー（青山泰知、大友良英）のセット。3rd setは、カヒミ・カリィ、浜田真理子、山本精一のヴォーカルを中心とした大友良英の新プロジェクト Invisible Songs。

日時：7月5日(土) 19:30開演
会場：山口情報芸術センター スタジオA
出演：カヒミ・カリィ、ジム・オルーク、一楽儀光、一楽まどか、山本精一、大友良英、青山泰知、
浜田真理子、Sachiko M、ベネディクト・ドリュエ
料金：全席自由 〈前売〉一般2,700円 any会員／特別割引 2,500円
〈当日〉3,000円 ※当日は各種割引の対象外

LIVE-2：オーケストラズ

1st setは、参加ミュージシャンが、YCAM館内の至る場所に散在して、同時多発的に音楽を奏でだすセッション。サウンドワークショップに参加した小・中学生も演奏します。2nd setは、ミュージシャンが、スタジオAの廃材を使ったインスタレーション内で競演するセッション。

日時：8月23日(土) 開演時間未定
会場：1st set：館内各所／2nd set：スタジオA
出演：ONJO／大友良英 NEW JAZZ ORCHESTRA [大友良英、カヒミ・カリィ、大蔵雅彦、
青木タイセイ、石川 高、Sachiko M、宇波 拓、高良久美子、水谷浩章、芳垣安洋、近藤祥昭]、
高嶺格、他多数、会場に来場された方々、サウンドワークショップ参加者
料金：全席自由 〈前売〉1st set 無料 2nd set 一般2,200円 any会員／特別割引 2,000円
〈当日〉1st set 無料 2nd set 2,500円 ※当日は各種割引の対象外

LIVE-3：クロージングライブ

1st setは、希代のギタリストである大友良英、山本精一によるドリームデュオのセッション。2nd setは、大友良英とシンガポール、韓国、中国からのミュージシャンによる新しいユニット Far East Networkに山本精一がゲスト出演します。

日時：10月11日(土) 19:30開演
会場：スタジオA (予定)
出演：大友良英、山本精一、Yuen Chee Wai (シンガポール)、Ryu Hankil (ソウル)、Yan Jun (北京)
料金：全席自由 〈前売〉一般 1,700円 any会員／特別割引 1,500円
〈当日〉2,000円 ※当日は各種割引の対象外

チケット情報	any会員先行予約 6月1日(日)～ 一般発売 6月8日(日)～
3公演分のセット券	一般 6,000円 any会員 5,400円(販売は7/5まで)

大友良英 × 高嶺格 トーキング・セッション

2008年6月1日(日) 14:00-15:30 山口情報芸術センター ホワイエ

「orchestras」(オーケストラズ) でコラボレーションを行う大友良英と高嶺格の両氏をゲストに、モデレータに小崎哲哉氏(「ARTiT」発行人兼編集長)を迎え、作品の魅力などを自由に語り合っています。

ボランティア・機材募集説明会

2008年6月1日(日) 15:30-17:00 山口情報芸術センター ホワイエ

「without records」(ウィズアウトレコーズ)での制作ボランティア、および楽器・機材の募集を大友氏本人より作品解説を交えながらご説明します。

「without records」(ウィズアウトレコーズ)制作ワークショップ

2008年6月20日(金) - 29日(日) 山口情報芸術センター ホワイエ、創作・学習室

制作ボランティアとともに「without records」(ウィズアウトレコーズ)で展示するポータブルレコーダプレーヤーの加工・調整および設置を行います。

「こどものための即興オーケストラワークショップ」

2008年8月17日(日) 14:00- 山口情報芸術センター 創作・学習室

小学1年生~中学3年生を対象にしたワークショップを行います。ワークショップ参加者には8月23日(土)のLIVE2にも参加していただく予定です。

大友良英の音楽参加の映画作品特集上映

山口情報芸術センター スタジオ C

大友良英は中国映画「青い凧」にはじまり、相米慎二作品、安藤尋作品、NHKドラマなど、40作以上ものサウンドトラックを担当してきました。その中から次の作品を厳選し、展覧会期中の週末に特集上映いたします。

上映作品(予定)

- 7月11日(金) - 13日(日) 『青い凧』(93年/田壮壮/中国)
『スタントウーマン』(96年/アン・ホイ/香港)
- 8月1日(金) - 3日(日) 『風花 kaza-hana』(00年/相米慎二)
『ごめん』(02年/富樫森)
- 9月12日(金) - 14日(日) 『カナリア』(04年/塩田明彦)
『blue』(01年/安藤尋)
『朗読紀行・にっぽんの名作「風の又三郎」』(03年/黒沢清/NHK-BS)



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

[開館時間] 10:00-20:00
(夜間イベントのある日は22時まで開館)

[休館日] 火曜日(祝日の場合は翌日)

〒753-0075 山口県山口市中国町 7-7

Tel: 083-901-2222

Fax: 083-901-2216

<http://www.ycam.jp/>

information@ycam.jp

[アクセス]

山口宇部空港から
・乗合タクシー「空港エクスプレス」でYCAMまで約1時間
・空港連絡バスでJR新山口駅まで20分

JR新山口駅から
・防長バス/JRバス 約30分、中国町下車すぐ
・JR山口線18分、湯田温泉駅下車 徒歩25分/タクシー5分
・JR山口駅21分、山口駅下車 徒歩25分/バス10分(中国町か済生会病院前下車)/タクシー5分

自動車利用

・広島から 山陽自動車道で約1時間30分、防府東ICから30分
・福岡から 九州・中国自動車道で約2時間、小郡ICから25分